

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 7 部門第 1 区分
【発行日】平成 21 年 6 月 18 日 (2009.6.18)

【公開番号】特開 2007-317386 (P2007-317386A)
【公開日】平成 19 年 12 月 6 日 (2007.12.6)
【年通号数】公開・登録公報 2007-047
【出願番号】特願 2006-142783 (P2006-142783)
【国際特許分類】

H 0 1 M 8/04 (2006.01)

【 F I 】

H 0 1 M 8/04 H

【手続補正書】

【提出日】平成 21 年 4 月 28 日 (2009.4.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ユーザからの低温対策要求の入力時に低温対策用の制御が行われる燃料電池システムであって、

システムの起動命令が入力されてから停止命令が入力されるまでの間に該システムが設定条件を満たすか否かを判断する判断手段と、

前記設定条件を満たす場合には、該システムの起動命令が入力されてから停止命令が入力されるまでの期間にユーザに対して低温対策要求の入力を促す報知手段と

を具備することを特徴とする燃料電池システム。

【請求項 2】

前記判断手段は、前記判断を所定時間間隔で繰り返し実行することを特徴とする請求項 1 に記載の燃料電池システム。

【請求項 3】

前記設定条件は、当該システムに関わる温度条件であることを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の燃料電池システム。

【請求項 4】

前記システムに関わる温度条件は、当該システムの外気温度、または当該システムの部品温度の少なくともいずれか一方に関わる温度条件であることを特徴とする請求項 3 に記載の燃料電池システム。

【請求項 5】

低温対策用の制御が行われる燃料電池システムであって、

システムの起動命令が入力されてから停止命令が入力されるまでの間に該システムに関わる温度が第 1 の設定条件を満たすか否かを判断する第 1 判断手段と、

前記第 1 の設定条件を満たす場合に該システムに関わる温度の経時変化が第 2 の設定条件を満たすか否かを判断する第 2 判断手段と、

前記第 2 の設定条件を満たす場合に低温対策用の制御を行う制御手段と

を具備することを特徴とする燃料電池システム。

【請求項 6】

前記システムに関わる温度は、外気温度であり、

前記第 1 判断手段は、前記外気温度が設定された基準温度を下回っているか否か判断し

、

前記第2判断手段は、前記外気温度が設定された前記基準温度を下回っている場合に該外気温度の経時変化が設定されている差分閾値以上であるか否かを判断することを特徴とする請求項5に記載の燃料電池システム。